



よろこびを地域・保護者とともに紡ぎ、織りなす加美小学校

# 輝けMIRAI☆加美っ子

令和6年1月19日  
加美小学校だより  
発行 校長 梶並裕子



## 真剣！

## 「なりたい自分になる！」の3学期はじまる！ 「もっといい加美小学校にします！」

3学期がはじまりました。1月9日の始業式で、能登半島地震の被害に遭われ亡くなられた方に黙祷をしました。そして「自分のいいところをちゃんと理解し、なりたい自分を描いて、それに向かって努力しよう」と話をしました。本当に3学期早々から真剣に聞いており、教室に帰ってからもそれぞれが「なりたい自分」を考えてくれたようです。

お正月に学校にも年賀状が届きましたが、わたしにも書いてくれている子もいて「来年6年生だから、リーダーとなって活躍します！」「加美小をもっと良い学校にします」と、人任せでなく自分のこれからの行動への思いがこめられていて年始からとても嬉しい気持ちになりました。

## 1月17日の避難訓練にみられた子どもたちの成長 本当なら来てくれるはずだったピースウィンズ 災害救助の現実！

1月17日は、阪神淡路大震災があった日です。もちろん当時を知っている子どもはいません。加美小では、災害救助のNPO法人「ピースウィンズ」さんに来ていただいて、この日全校で実際に体育館で避難所で使われる段ボールベッドを組み立てたり、災害救助犬に来てもらって活躍を再現してもらったりして、災害にあったときの大切なことを教えてもらう予定でした。しかし、1月1日の能登半島地震の発生で、ピースウィンズは現地に向かわれ、今回の計画は延期になりました。残念ではありますが、こうして災害救助の緊迫感を目の当たりにして、子どもたちの気持ちも引き締まったように思います。そして、1月17日は、地震の避難訓練を実施しました。とても真剣に取り組んでくれました。私や係の先生の話真剣に聞いておりました。全校の振り返りのなかでも、子どもたちの成長した思いにふれることができます。

(6年男子) 低学年や自分より年下の学年を守るよう声をだしたい。家に帰って親と避難場所の確認の話をしたい。



(2年男子) 自分の命は自分で守る話は大切だと思いました。近くにもものがないところに逃げようと思いました。



(5年女子) もしかしら自分しかない時に地震がおこるかもしれないから、冷静に正しい判断を心がけようと思った。



(3年男子) (危険だと思っても備えをしている人が20%くらいしかない聞いて)自分も防災グッズを準備しようとおもった。もしも、地震が起きた時に備えて、おうちの人と避難場所を相談しようと思いました。



(4年女子)  
・しんけんは、訓練でも100点満点でやる。自分の身は自分で守る。防災グッズなどを家に置いておこうと思った。  
・今年は高学年の仲間入りだから、小さい子を助けてけがをする人を減らしたいです。



(5年女子) もしかしら自分しかない時に地震がおこるかもしれないから、冷静に正しい判断を心がけようと思った。



## 地域のみなさん 児童の見守りに ご協力お願いします。 下校放送をはじめました



PTA 会長 村上智允

1月9日 PTA 会長 告知放送にて

加美地区のみなさん、こんにちは。私は、加美小学校 PTA 会長の村上智允と申します。いつも加美小学校の子どもたちにあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。加美小学校では、見守りや地域学習で、みなさんから多大なご支援をいただき、また普段より地域で子どもたちの成長を助けてくださっていることにPTA会長として心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

本日はみなさんにお願ひがあり放送させていただいております。

加美小学校では、ほとんどの児童が徒歩通学をしております。通学途中の事故や事件が報道されるたび、見守りのみなさんのありがたさを痛感しています。しかし、最近では下校中の見守りの方が減ってきています。働いている保護者も多いことから、なんとかできないものかと考え、ほかの市町村での方法に習い、「加美まちづくり協議会」様のご協力を得て、児童の下校時に告知放送を流させていただくことにいたしました。

みなさんお忙しなされていることと思いますが、下校時刻あたりに犬の散歩や花の水やり、お買い物の行きかえりをさせていただくことで、犯罪の抑止になると考えています。

本日より、児童の下校時刻に放送を入れさせていただきます。可能な方は何かのついでで構いませんので、児童の下校の見守りをしていただけると幸いです。

今後も加美地区の子どもたちをどうぞご支援していただきますようお願いします。

## 「夢と勇気のシンボルに！」大谷翔平選手からの手紙

学校関係各位 貴校ますますご清栄の事とお慶び申し上げます。ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは、学校への寄付となります。

それ以上にわたしはこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私の充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的メッセージを学校の生徒達に伝えていただければ幸いです。

この機会にグローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

貴校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

野球しようぜ！

## 大谷翔平選手 ありがとう！大切に使うよ！

1月16日、待ちにまった大谷翔平選手からのグローブが学校に届きました。さっそく17日に放送で紹介すると、大きな拍手がおこりました。今週展示して来週はさっそくみんなに使ってもらいたいと思っています。

職員で等身大のパネルをつくって「野球しようぜ」のメッセージとともに展示すると、子どもたちは大谷選手と背比べをしたり、手に取ってみたい、とても嬉しそうにしています。

夢をありがとう  
大谷選手！



地域の皆様にもお披露目します。お気軽にお越しください。

3月4日(月)5日(火)16時~17時半 加美小ふるさとルームにて